

市町村名	沖縄市							
平成 2 8 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－①	道路景観形成推進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ			
					観光客の受入体制の整備			
担当部課名	建設部 道路課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）			
事業内容	観光周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保並びに温室効果ガス（CO2）の排出抑制に向け、道路植栽等整備工事や環境負荷の少ないLED道路照明器具の整備等を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			26年度	27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	133,989	114,958	214,254			
		(b) 予算現額	111,800	107,426	195,415			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 22,189	▲ 7,532	▲ 18,839	0		
		(d) 繰越額	0	－	0	30,446		
		A. 計 (b+d)	111,800	107,426	195,415	30,446		
	B. 執行済額		111,766	107,426	152,545	30,154		
	うち交付金充当額		89,492	85,941	122,036	24,123		
	次年度繰越額		0	0	30,446	0		
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	78.1%	99.0%		
	予算の状況の説明		12月補正において、委託料(2件)及び工事請負費(3件)の入札差額を減額した。 当初予定していた工事3件のうち平成28年度中に2件完成し、残りの1件は平成29年度に繰り越して完成した。					
	活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度		
①道路植栽等整備実施設計 1路線		目 標	（ ①1路線 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	①1路線					
②道路植栽等整備工事 2路線 ③照明灯LED化取替 11基		目 標	（ ②2路線 ③11基 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	②2路線 ③10基					
達成 状況 説明	①道路植栽等実施設計については、当初予定していた1路線（市道安慶田中学校線）を実施した。 ②道路植栽等整備工事については、当初予定していた2路線（市道登川48号線、市道総合グランド通り線）を完成した。 ③照明のLED化取替えについては、当初の予定より1基少ない10基を完了し、道路景観の向上、温室効果ガス（CO2）の排出抑制を図ったが、活動目標を下回った。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （30年度）
	①実施設計（道路植栽等） 1路線の完了 ②道路植栽等整備 2路線の完了 ③照明灯LED化 取替11基の完了	目 標	（ ）	（ ①1路線 ②2路線 ） ③取替11基	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		①1路線の完了 ②2路線の完了 ③取替10基の完了				
	④主要施設来場者数 H28:241万人 ⑤CO2排出量の削減 削減目標値： 7,800kg-co2	目 標	（ ）	（ ④241万人 ⑤7,800kg- ） co2	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		④275万人 ⑤7,800kg-co2				
	【H30成果目標】 ・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 80%以上 ）	
	進 捗 状 況 説 明	①道路植栽等実施設計については、当初予定していた1路線（市道安慶田中学校線）を完了した。 ②道路植栽等整備工事については、当初予定していた2路線の整備工事を完了し道路の快適性の向上や安全性の確保を図った。 ③照明のLED化取替えについては、当初の予定より1基少ない10基を完了し、道路景観の向上、温室効果ガス（CO2）の排出抑制を図ったが、成果目標を下回った。 ④主要施設来場者数について、241万人を予定していたが、275万人であり成果目標を上回った。 ⑤CO2排出量の削減目標については、当初の予定より650kg-co2少ない7150kg-co2で目標を下回った。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・グランド通りにおいて道路照明（エイサーデザイン）を設置する際に、照明設置予定箇所の隣接住民へ理解を得られず、設置個所を変更することになった。	・道路構造物を設置する場合には、説明会を行うとともに、道路構造物設置個所の隣接住民へ事前に説明する必要がある。
今後の取り組み方針		
平成29年度から平成30年度に整備する、安慶田中学校線について事前に住民説明及び自治会との連携を図りながら、市民や観光客など来街者の快適性や安全性等の向上を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
沖繩市 182,699千円 （対象外2,608千円） 委託費 9,463千円 （一財）建設物価調査会 175千円 （有）住吉土木設計 9,288千円 工事請負費 173,236千円 （対象外2,608千円） （有）仲田電設 4,828千円 （株）富建 57,768千円 （対象外2,442千円） （株）仲本ファブテック 110,640千円 （対象外166千円） 建設資材価格特別調査業務委託 市道安慶田中学校線道路植栽等整備 実施設計業務委託 道路照明灯具取替工事 市道登川48号線 道路植栽等整備工事 市道総合グランド通り線 道路植栽等整備工事 <table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>185,307</td><td>182,699</td><td>146,159</td><td>36,540</td><td>2,608</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	185,307	182,699	146,159	36,540	2,608
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
185,307	182,699	146,159	36,540	2,608										
資金 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託者は、指名競争入札により決定しており妥当である と考える。 ○委託業務費の積算については、積算歩掛け等により適正 に行っている。 ○費目・使途については、業務完了後に支出等に関する書 面により確認し、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	沖縄市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5－⑤	（仮称）雇用促進施設等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（10）－ア			
担当部課名	経済文化部　企業誘致課	事業実施（予定）年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援			
事業内容	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。							
効果発現年度	□当年度　　■後年度（33年度）							
実施方法	■直接実施　　■委託　　□補助　　□負担　　□その他（　　）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	27年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	
	予算の状況	(a) 当初予算額	245,919	370,648	－	266,922	－	
		(b) 予算現額	245,919	335,587	－	266,922	－	
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 35,061	－	0	－	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	91,010	
		A. 計 (b+d)	245,919	335,587	315,159	266,922	91,010	
	B. 執行済額		245,919	20,428	315,159	175,911	87,064	
	うち交付金充当額		196,735	16,342	252,127	140,729	69,651	
	次年度繰越額		0	315,159	0	91,010	－	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	6.1%	100.0%	65.9%	95.7%	
予算の状況の説明		入居中の企業との移設協議等の調整に不測の日数を要したため、年度内の工事完了が困難となり、工事費にかかる91,010千円を平成29年度に繰越した。 なお、当初計画していた工事の変更契約を行ったことから不用額が生じた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
			26年度（6－⑥）	27年度（5－⑥）	28年度（5－⑤）	29年度		
	雇用促進施設としての再整備のため、修繕・改修工事を行う。	目　標	（　　購入　　）	（　修繕・改修　）	（　修繕・改修　）	（　　　　　　）		
		実　績	購入	修繕・改修	修繕・改修			
達成状況説明	雇用促進施設として平成26年度に建物及び土地を購入し、再整備のため平成27年度及び平成28年度に修繕・改修工事（建築工事、機械工事、電気工事等）を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値（　年度）	26年度（6－⑥）	27年度（5－⑥）	28年度（5－⑤）	目標値（33年度）
	修繕・改修工事の完了（達成率100%）	目　標	（　　　　　）	（　100%　）	（　100%　）	（　100%　）	（　　　　　）	
		実　績		100%	100%	100%		
	【H33成果目標】就労者数	目　標	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　500人　）	
	進捗状況説明	（修繕・改修工事の完了） 平成28年度で整備が完了し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図っていきたい。 （就労者数） 平成29年4月における雇用促進等施設の就労者数は399名であり、平成33年度までに就労者数500人を目標とする。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	施設整備に当たり、入居中の企業の移転が必要となるが、移設協議等の調整に不測の日数を要したため、年度内の工事完了が困難となった。	事業実施に際しては、工事発注前において、入居企業等の調整を行うなど、事業期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。
今後の取り組み方針		
・企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図っていきたい。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>448,799</td><td>262,975</td><td>210,380</td><td>52,595</td><td>185,824</td></tr></table> 沖縄市 262,975千円 工事請負費 258,229千円 委託費 4,746千円 喜納建設 16,419千円 (有)桑江興業 6,043千円 (株)クリマコーポレーション 5,942千円 太田建設(株) 63,188千円 (有)南光電気設備 47,817千円 (株)テクノ工業 80,933千円 (株)沖縄トラスコン 18,061千円 (有)三星電気工事 7,290千円 (株)テクノ工業 12,536千円 (株)二基設計 4,746千円 コリンザ改修第2期工事(建築) コリンザ外部改修工事 第1工区 コリンザ外部改修工事 第2工区 コリンザ駐車場改修工事 4階 コリンザ改修第2期工事(電気設備) コリンザ改修第2期工事(機械設備) コリンザ改修工事(3階-第2工区)建築工事 コリンザ改修工事(3階-第2工区)電気設備 コリンザ改修工事(3階-第2工区)機械設備 コリンザ第2期工事(管理業務委託)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	448,799	262,975	210,380	52,595	185,824
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
448,799	262,975	210,380	52,595	185,824										
資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託の業者選定は指名競争入札が不調となったため、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により随意契約を実施しており、妥当であったと考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模につて、事業計画等に基づき精査当を行っており、適正規模となっている。											
資金の 使途の 点検 評価	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											

市町村名	沖縄市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10－①	コミュニティーパーク整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ				
担当部課名	建設部 建築・公園課	事業実施（予定）年度	平成24～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成			
事業内容	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを伺いながら公園の基本設計を策定し、実施設計および公園整備工事等を行う。							
効果発現年度	□当年度 ■後年度（ 30 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	27年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	449,720	-	405,057	-		
		(b) 予算現額	449,720	-	347,946	-		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	▲ 57,111	-		
		(d) 繰越額	-	339,520	-	32,409		
		A. 計 (b+d)	449,720	339,520	347,946	32,409		
	B. 執行済額		110,957	339,520	315,537	32,409		
	うち交付金充当額		88,160	182,921	252,429	25,927		
	次年度繰越額		339,520	-	32,409	-		
	執行率（％）(B/A)		24.7%	100.0%	90.7%	100.0%		
予算の状況の説明		平成28年度での事業完了を予定していたが、（仮称）美東公園において、工事発注後に地域から整備内容について新たな要望がり、再検討に時間を要した為、繰越して事業を完了した。 また、平成28年度に契約手続きが完了していたことから、入札差額金を減額している。						
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	【（仮称）美東公園】（工事） （仮称）美東公園施設整備工事	目 標	（ 修景設計公園整備工事 ）	（ 建築監理業務公園整備工事 ）	（ 整備工事 ）	（ ）		
		実 績	修景設計公園整備工事	建築監理業務公園整備工事	整備工事			
	【若夏公園】（委託） ①確認探査業務委託 ②管理棟新築工事管理業務委託 ③管理棟新築工事意図伝達業務委託 ④特別調査（工事） ⑤整備工事1工区 ⑥整備工事2工区 ⑦整備工事3工区 ⑧管理棟新築工事	目 標	（ 実施設計 ）	（ 建築実施設計磁気探査造成工事等 ）	（ ①確認探査業務委託 ②管理棟新築工事管理業務委託 ③管理棟新築工事意図伝達業務 ④特別調査業務 ⑤整備工事1工区 ⑥整備工事2工区 ⑦整備工事3工区 ⑧管理棟新築工事 ）	（ ）		
実 績		実施設計	建築実施設計磁気探査造成工事等	①確認探査業務委託 ②管理棟新築工事管理業務委託 ③管理棟新築工事意図伝達業務委託 ④特別調査 ⑤整備工事1工区 ⑥整備工事2工区 ⑦整備工事3工区 ⑧管理棟新築工事				
達成状況説明	（仮称）美東公園は、整備工事を実施したが、一部工事完了することができなく、繰越して整備をおこなった。 若夏公園は、確認探査及び管理棟工事管理業務等の委託業務、公園整備工事及び管理棟新築工事等を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値（ 年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（ 年度）
	【（仮称）美東公園】（工事） （仮称）美東公園施設整備工事の完了	目 標	（ ）	（ 修景設計公園整備工事 ）	（ 建築監理業務公園整備工事 ）	（ 公園整備工事 ）	（ ）	
		実 績		集計設計公園整備工事	建築監理業務公園整備工事	公園整備工事		
	【若夏公園】施設整備工事の完了	目 標	（ ）	（ 実施設計 ）	（ 建築実施設計磁気探査造成工事等 ）	（ 公園整備工事 ）	（ ）	
		実 績		実施設計	建築実施設計磁気探査造成工事等	公園整備工事		
	【H30成果目標】 公園利用者を対象に、当該公園を利用することで、疾病予防や健康増進につながったか、アンケートを実施し効果を確認する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 80% ）	
進捗状況説明	（仮称）美東公園は、整備工事の一部を繰越す事となったが、平成29年度に整備が完了した。 若夏公園は、確認探査及び管理棟工事管理業務等の委託業務、公園整備工事及び管理棟新築工事等を行ない、平成28年度に整備を完了した。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	市民の健康増進を図ることや、地域住民の交流の場等を目的に整備をおこなっており、整備後はより多くの方に公園を利用してもらう取り組みが必要である。	公園利用の促進図るために、公園情報を市民に周知することが必要であることから、HP等のインターネットによる情報発信や、自治会等への周知を行っていく。
今後の取り組み方針		
健康増進や地域交流の場として多くの方に利用してもらうための周知活動として、公園情報を市HP等に掲載するなど、個人利用者のみならず、地域や団体等が開催するイベント等にも利用できるように周知していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）			
沖縄市 347,946千円 委託費 7,746千円 工事費 340,200千円 （株）沖縄計測：5,508千円 （株）ARK：2,106千円 （有）浜川建築設計事務所：132千 （仮称）美東公園施設整備工事（その6）特別調査業務委託 若夏公園管理棟基本・実施設計業務委託 若夏公園磁気探査業務委託 若夏公園磁気探査業務委託（その2） 仲本建設（株）：101,520千円 （有）幸地建設：136,080千円 （有）丸喜産業：102,600千円 （仮称）美東公園施設整備工事（その8） 若夏公園整備工事（その2） 若夏公園整備工事（その3） 防球ネット・管理棟等公園整備工事 大型遊具・管理棟等公園整備工事 造成・排水・園路等公園整備工事			
資金の流 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定については、指名競争入札を実施している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適切な規模であったと考えている。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要であるかなどが額の確定時に検査・確認しており、適切だったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

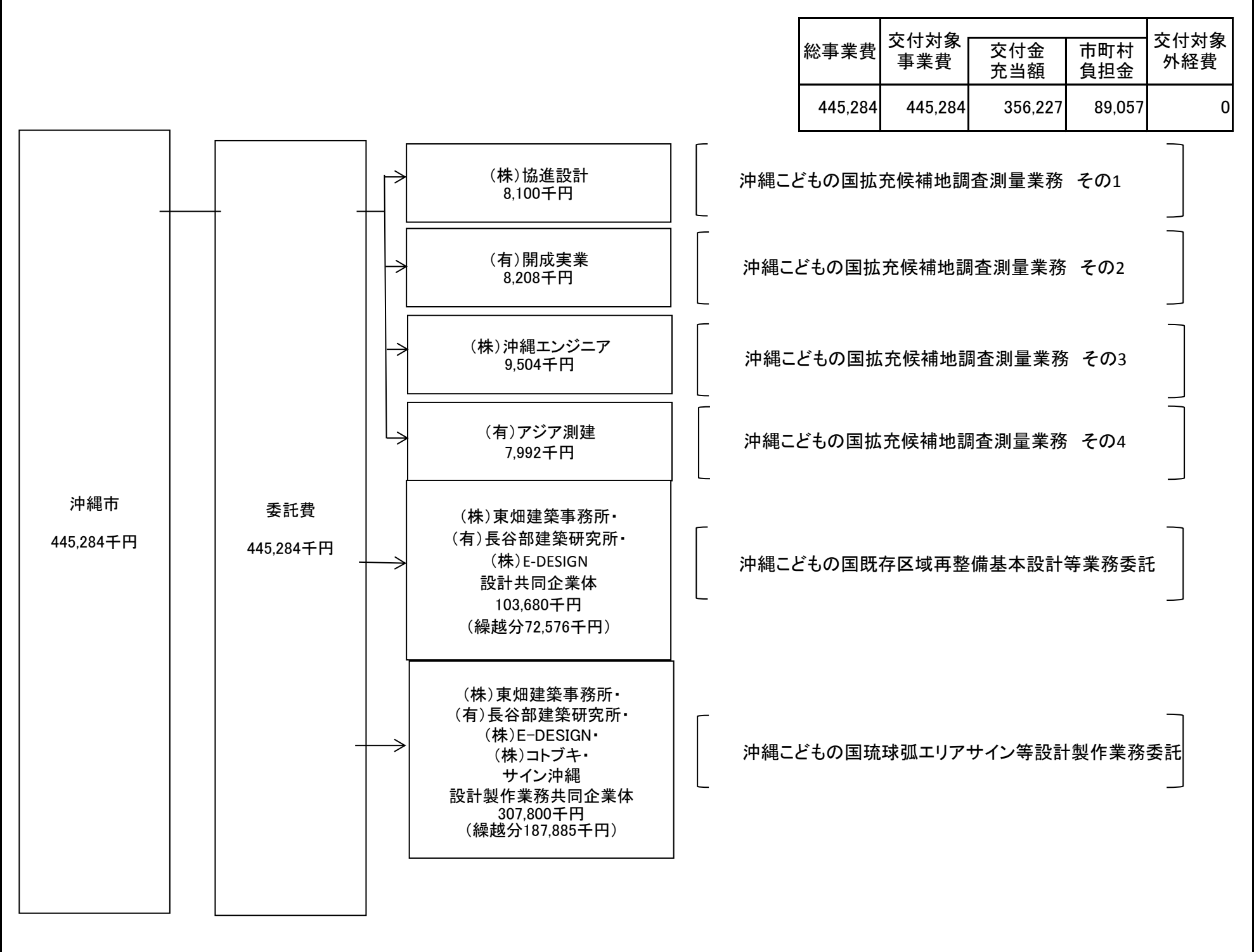
市町村名	沖縄市						
平成 2 8 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	16－①	沖縄こどもの国施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－（2）－ア	
担当部課名	企画部　プロジェクト推進室	事業実施（予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成	
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設整備を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（ 30 年度）						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　　）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	252,980	7,992	－		
		(b) 予算現額	220,104	468,537	－		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 32,876	460,545	－		
		(d) 繰越額	－		260,461		
		A. 計 (b+d)	220,104	468,537	260,461		
	B. 執行済額		208,872	184,823	260,461		
	うち交付金充当額		167,097	147,858	208,369		
	次年度繰越額			260,461			
	執行率（％）(B/A)		94.9%	39.4%	100.0%		
	予算の状況の説明		動物導入における関係機関との調整やロゴマーク決定のための諸調整に不測の日数を要し、繰越事業となった。				
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度
	既存区域の基本設計の実施 拡充予定地用地測量の実施 新規動物舎の基本実施設計の実施 琉球弧エリアの施設演出実施設計の実施 エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等整備の実施		目 標	（ ゾウ舎施設工事の完了 ）	（ 既存区域の基本設計完了 拡充予定地用地測量完了 新規動物舎の基本実施設計完了 琉球弧エリアの施設演出実施設計完了 エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等整備完了 ）	（ ）	（ ）
			実 績	ゾウ舎施設工事の完了	既存区域の基本設計完了 拡充予定地用地測量完了 新規動物舎の基本実施設計完了 琉球弧エリアの施設演出実施設計完了 エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等整備完了		
達成状況説明		拡充予定区域の用地測量を完了した。 既存区域の基本設計、新規動物舎の基本実施設計、琉球弧エリアの施設演出実施設計、エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等の整備は繰越事業となっていたが完了した。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (32年度)
	既存区域の基本設計完了 拡充予定地用地測量完了 新規動物舎の基本実施設計完了 琉球弧エリアの施設演出実施設計完了 エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等整備完了	目 標	()	()	ゾウ舎施設工事の完了 ()	()	()
		実 績			既存区域の基本設計完了 拡充予定地用地測量完了 新規動物舎の基本実施設計完了 琉球弧エリアの施設演出実施設計完了 エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等整備完了		
	【H30成果目標】 年間来園者数48万人	目 標	()	()	()	()	()
		実 績		458,102人	456,717人		
	進捗状況説明	拡充予定区域の用地測量を完了した。 既存区域の基本設計、新規動物舎の基本実施設計、琉球弧エリアの施設演出実施設計、エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等の整備は繰越事業となっていたが完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(用地測量) 測量結果をもとに、地権者への事業周知を行い、施設拡張のための都市計画決定の手続きを行う必要がある。 (既存区域の基本設計) 基本設計成果をもとに、実施設計を行う必要がある。 (新規猛獣舎の設計) 設計成果をもとに、目玉となる動物舎の整備を行う必要がある。 (サイン等の整備) サイン等の整備により施設の魅力が向上したため、これらを活用した誘客の取り組みが必要となる。 (年間来園者数) 目標来園者数は達成されたが、整備されたものを活用した誘客の取り組みを行う必要がある。	(用地測量) 施設拡張のための都市計画決定を県に行ってもらうための調整を進めていく。 (既存区域の基本設計) 引き続き実施設計を行い、魅力ある区域を設計する。 (新規猛獣舎の設計) 目玉動物舎として施設規模に見合った頭数を導入していく。 (サイン等の整備) デジタルサイネージのコンテンツ開発など整備したものを有効に活用できるようソフトサービスを充実させる。 (年間来園者数) 情報発信や広報により県外客の誘客を充実させ、来園客の増につなげる。
今後の取り組み方針		
(用地測量) 平成30年度での都市計画決定を目指し県との調整を行う。 (既存区域の基本設計) 平成30年度で実施設計を完成させる。 (新規猛獣舎の設計) 平成30年度で新規猛獣舎の整備を行う。 (サイン等の整備) 整備したデジタルサイネージのコンテンツ等を製作する。 (年間来園者数) デジタルサイネージのコンテンツを活用し県外客の誘客を行う。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○用地測量は、本市業者選定委員会で選定した業者を指名競争入札により実施し、基本設計及びサイン等整備は公募型プロポーザルによる提案を受けて契約者選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に見合った予算規模で適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、事業目的の観点から、必要なものなのか等については、額の確定時において検査確認しており、適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	